

# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : リボンカセットPT-7D 黒  
商品コード : 0326111  
整理番号 : TR23-M014  
会社名 : 富士通コワーコ株式会社  
住所 : 〒211-0041 神奈川県川崎市中原区下小田中2-12-5  
電話番号 : 0120-505-279  
作成日 : 2023年11月14日  
改訂日 : -  
推奨用途と使用上の制限 : 印字用 推奨用途以外への使用を禁止する

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

物理化学的危険性 : 区分に該当しない、又は分類できない  
人健康有害性 : 区分に該当しない、又は分類できない  
環境有害性 : 区分に該当しない、又は分類できない  
絵表示又はシンボル : 該当なし  
注意喚起語 : なし  
危険有害性情報 : なし  
注意書き : 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

## 3. 組成・成分情報

単一製品・混合物の区別

混合物

化学名 又は 一般名

インクリボンカセット

### 成分情報

	物質名又は一般名	CAS No.	重量%
インク部	高級脂肪酸	65381-09-1	1-10
	非水系増粘剤	68648-89-5	<1
	高度精製鉛物油	-	<1
	分散剤	-	<1
	分散剤	-	<1
	黒顔料	1333-86-4	<1
	黒顔料	13007-86-8	<1
	青顔料	147-14-8	<1
リボン基布	ポリアミド-6, 6	32131-17-2	10-20
成形部品	ABS	9003-56-9	40-50
	POM	25231-38-3	10-20
その他	PE	9002-88-4	1-10
	高合金鋼	-	<1
	紙	-	20-30

## 4. 応急措置

目に入った場合 : 直ちに流水で洗眼後、医師の処置を受ける。  
皮膚に付着した場合 : 大量の水と石鹸などで洗い流す、外観に変化が見られる場合及び痛みが続く場合は医師の手当てを受けること。  
飲み込んだ場合 : 水で口の中をよく洗浄した後、医師の手当を受ける。

---

吸入した場合 : 鼻をかみ、うがいをする。被災者を新鮮な空気のある場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。

---

#### 5. 火災時の措置

消火方法 : 大量の水、消火剤を使用して消火する。  
消火剤 : 泡消火剤、粉末、炭酸ガス、大量の水、乾薬砂。  
使ってはならない消火剤: 特になし。

---

#### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項  
漏出した場所の周辺にはロープを張り、人の立ち入りを禁止する。  
保護具および緊急時措置  
多量の場合、作業の際には必要により適切な保護具を着用する。  
環境に対する注意事項  
多量の場合には流路を土嚢などで囲って流出を防止する。  
封じ込め及び浄化の方法・機材  
少量の場合、紙や布でふき取り焼却する。  
多量の場合、火花の出ないシャベル等で密閉できる容器にすくい取り、焼却する。

---

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い  
技術的対策（局所排気、全体換気等） : 特に必要なし。  
安全取扱注意事項 : 常温、常湿、結露なき状態で使用する。  
接触回避 : 知見なし  
衛生対策 : 取扱い後はよく手を洗うこと。  
保管  
安全な保管条件 : 高温、火気、多湿、水漏れ、直射日光、結露を避け、常温常湿の屋内倉庫にて保管する。また、食品及び飼料から離して保管する。

---

#### 8. 暴露防止措置

管理パラメーター  
管理濃度 : データなし  
許容濃度 : ACGIH TLV-TWA ; 鉛油 5.0mg/m<sup>3</sup> (ミスト)  
ACGIH TLV-TWA ; カーボンブラック 3.0mg/m<sup>3</sup>  
設備対策 : 設定されていない。  
保護具  
呼吸用保護具 : 特に必要なし。  
手の保護具 : 特に必要なし。必要に応じて保護手袋を着用。  
眼の保護具 : 特に必要なし。必要に応じて保護眼鏡を着用。  
皮膚及び身体の保護具 : 特に必要なし。必要に応じて長袖作業衣を着用。

---

#### 9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 黒色インク含浸物である帯状リボンがカセット管体に収納されたもの  
色 : カートリッジ部(灰色)、インクリボン部(黒色)  
臭い : わずかな臭気  
pH : データなし  
融点・凝固点 : データなし

---

---

沸点、初留点及び沸騰範囲	: データなし
可燃性	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
pH	: データなし
動粘性率	: データなし
溶解度	: 水に不溶
n-オクタノール/水分分配係数	: 混合物として知見なし
蒸気圧	: 混合物として知見なし
密度及び/又は相対密度	: データなし
相対ガス密度	: 混合物として知見なし
粒子特性	: データなし

---

#### 10. 安定性・反応性

反応性	: 通常取り扱いにおいて常温で安定
化学的安定性	: 常温で安定
危険有害反応可能性	: 火気により引火の危険有り
避けるべき条件	: 高温、火気及び着火源
混触危険物質	: 知見なし
危険有害な分解生成物	: 燃焼によりCO、NO <sub>x</sub> 等のガスが発生する可能性がある
粉塵爆発	: 通常の状態では粉塵の状態になることはないと考えられるため、なし

---

#### 11. 有害性情報

急性毒性 (50%致死量等を含む)	: データなし
皮膚腐食性 及び 皮膚刺激性	: データなし
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	: データなし
呼吸器感受性 又は 皮膚感受性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: IARC評価 グループ2Bであるカーボンブラックを製品重量の1%未滿含有。インク成分 (分散された湿潤状態) なので簡単に浮遊しないと考えられる。

カーボンブラック単体において生体外変異原性としてAmes試験におけるDMSOカーボンブラック懸濁液は陰性を示す。不溶性の無機質固体であるため、カーボンブラックはバクテリア試験もしくはその他の生体外試験を行う事は出来ない。カーボンブラックの有機溶剤抽出物はしかしながら多環式芳香族炭化水素 (PAH) の残留物を含むことがある。したがって、生体外試験の方法いかんによっては陰性にも陽性にも結果が出る事がある。

詳細情報としてラットにおける腫瘍発生反応へのカーボンブラックのよう無機質不溶性粒子の関連性は、いまだ科学的討議の対象となっている。多くの吸入毒性研究者によると、ラットの肺への過負荷に見られる腫瘍反応は種々の特性である (過負荷現象)。人間の被曝とのとの関連性は発見されていない。しかしながら、IARCのモノグラフ65における評価では「カーボンブラックの実験動物における発ガン性は十分な証

---

---

拠あり」とされている。IARCによると人類における発ガン性の証拠は不十分である。IARCの評価方法に基づくカーボンブラックに対する総体的評価としては「人類への発ガンの可能性あり(グループ2B)」となる。

カーボンブラック単体でのPAH含有量は0.1%未満である。人類に関する知見としてカーボンブラック産業の労働者に対する数種の疫学ならびに臨床研究の結果、カーボンブラックによる職業的曝露が、医学的に重要な健康阻害効果をもたらすという証拠は見いだされていない。カーボンブラックに身をさらされる労働者において、ガンリスク増加という報告は得られていない。したがって分類できないと判定した。

生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性 (単回曝露)	: データなし
特定標的臓器毒性 (反復曝露)	: データなし
誤えん有害性	: データなし

---

## 1.2. 環境影響情報

生態毒性	: データなし
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壌中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし
魚毒性	: データなし
水生環境有害性 短期(急性)	: データなし
水生環境有害性 長期(慢性)	: データなし

---

## 1.3. 廃棄上の注意

適切な設備で廃棄または、焼却する。むやみに環境に放出してはならない。

---

## 1.4. 輸送上の注意

国際規制 国連分類: 国連の定義による危険物に該当しない。  
国連番号: 非該当

国内規制 消防法、船舶安全法などの法令の定めるところに従う。

- ・運搬の際は、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
- ・輸送時は高温、多湿及び低温、結露を避けるようにする。また、食品及び飼料と一緒に輸送を避けるようにする。

---

## 1.5. 適用法令

消防法 : インク部の成分一部に第4類第4石油類、可燃性液体類を使用。

プラスチック部は指定可燃物 合成樹脂類(貯蔵3,000 kg以上)。

労働安全衛生法 第57条の2 第1項:

カーボンブラック(政令番号130)を1.0wt%未満含有。

鉱油(政令番号168)を1.0wt%未満含有。

化審法 : 特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に非該当。

---

## 16. その他の情報

- ※ 記載内容は情報提供であって保証するものではありません。
- ※ 記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データ、知見に基づいて作成しておりますが、法令の改正や新しい知見により改訂されることがあります。
- ※ 全ての化学製品は未知の有害性があり得る上、記載の注意事項も通常の取り扱いを前提としたもので、ご使用に当たっては、用途・用法等実情に即した細心の安全対策を使用者自らの責任講じた上でご利用下さい。

### 参考文献

JIS Z 7252:2019, JIS Z 7253:2019  
「原料SDS」